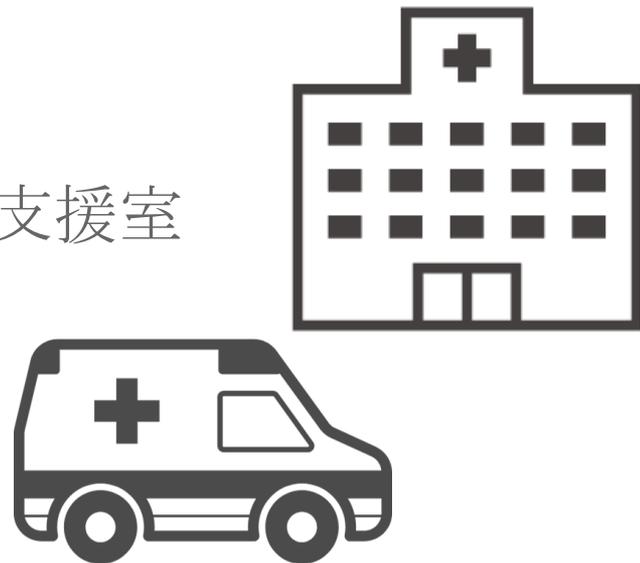


# 令和6年度 新小文字大規模災害訓練 実施報告

新小文字病院 災害対策支援室



# 災害拠点病院について

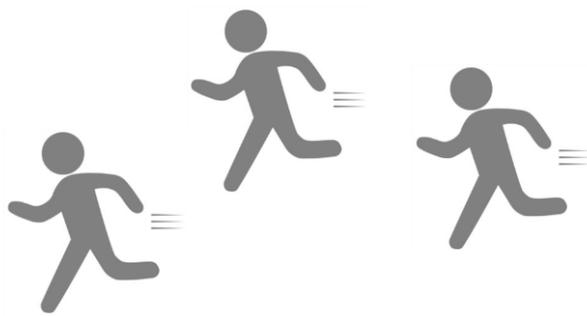
都道府県知事が指定。災害時に必要な医療を提供できる体制を持つ病院。災害時に地域の中核となる医療機関であり、重症患者の受け入れや医療チームの派遣など、災害医療において重要な役割を担う。

- ①救命医療: 重症・重篤患者の救命医療を行うための高度な診療機能
- ②広域医療搬送: 広範囲からの患者受け入れや、患者の広域搬送への対応
- ③医療救護班の派遣: 被災地への医療救護班の迅速な派遣
- ④地域の医療機関との連携: 地域の医療機関との連携による医療支援



# 災害拠点病院における災害訓練の意義

- ①災害対応能力の向上: 災害時の医療体制、手順、役割分担の確認と習熟
- ②連携強化: 院内外の関係機関との連携強化、情報共有の円滑化
- ③課題の洗い出しと改善: 訓練を通じて課題を洗い出し、改善策を検討
- ④職員の意識向上: 災害医療に対する職員の意識向上、責任感の醸成
- ⑤地域住民への安心感提供: 地域住民へ安心感を与える

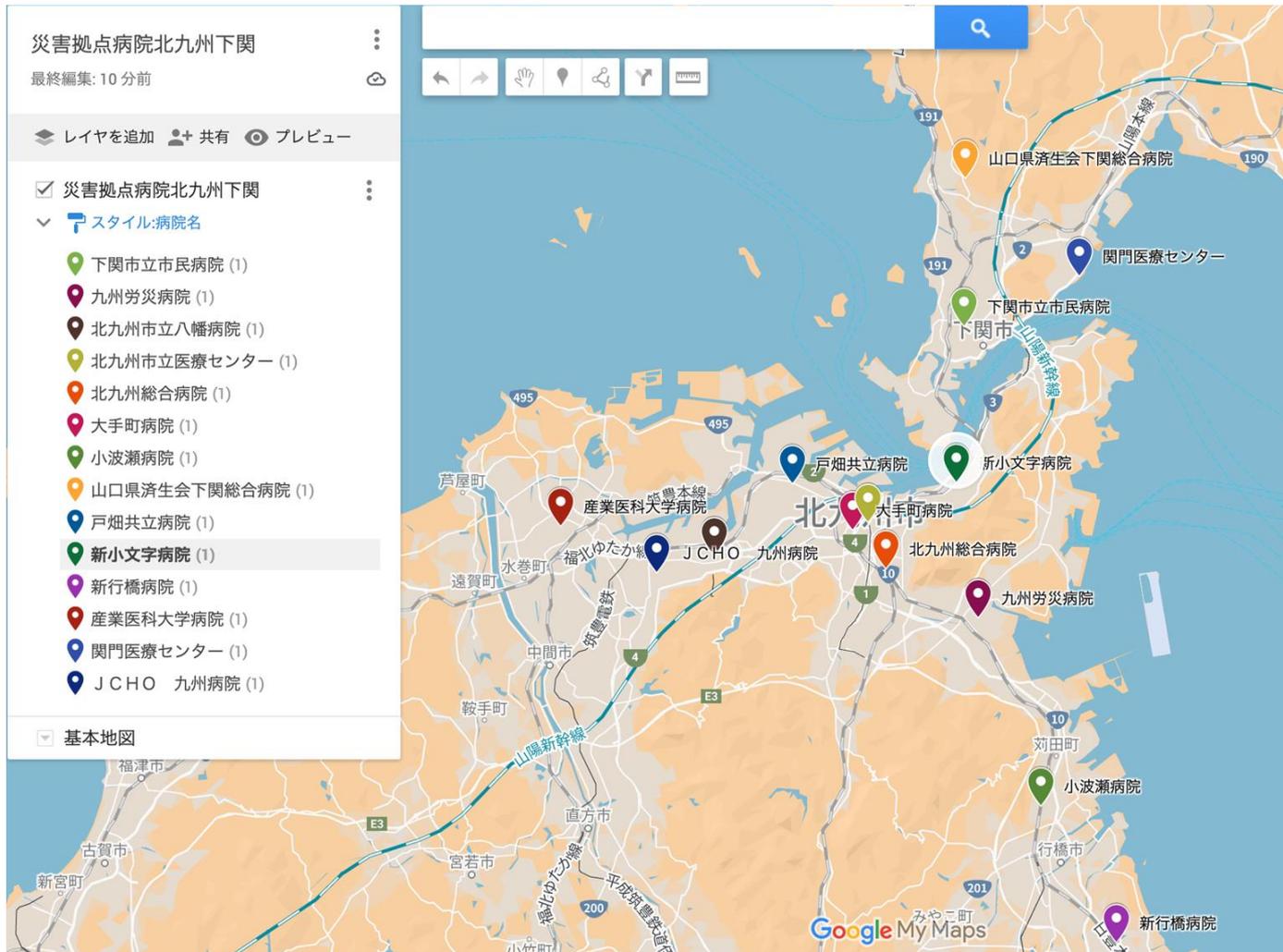


# 北九州市 下関市の 災害拠点 病院

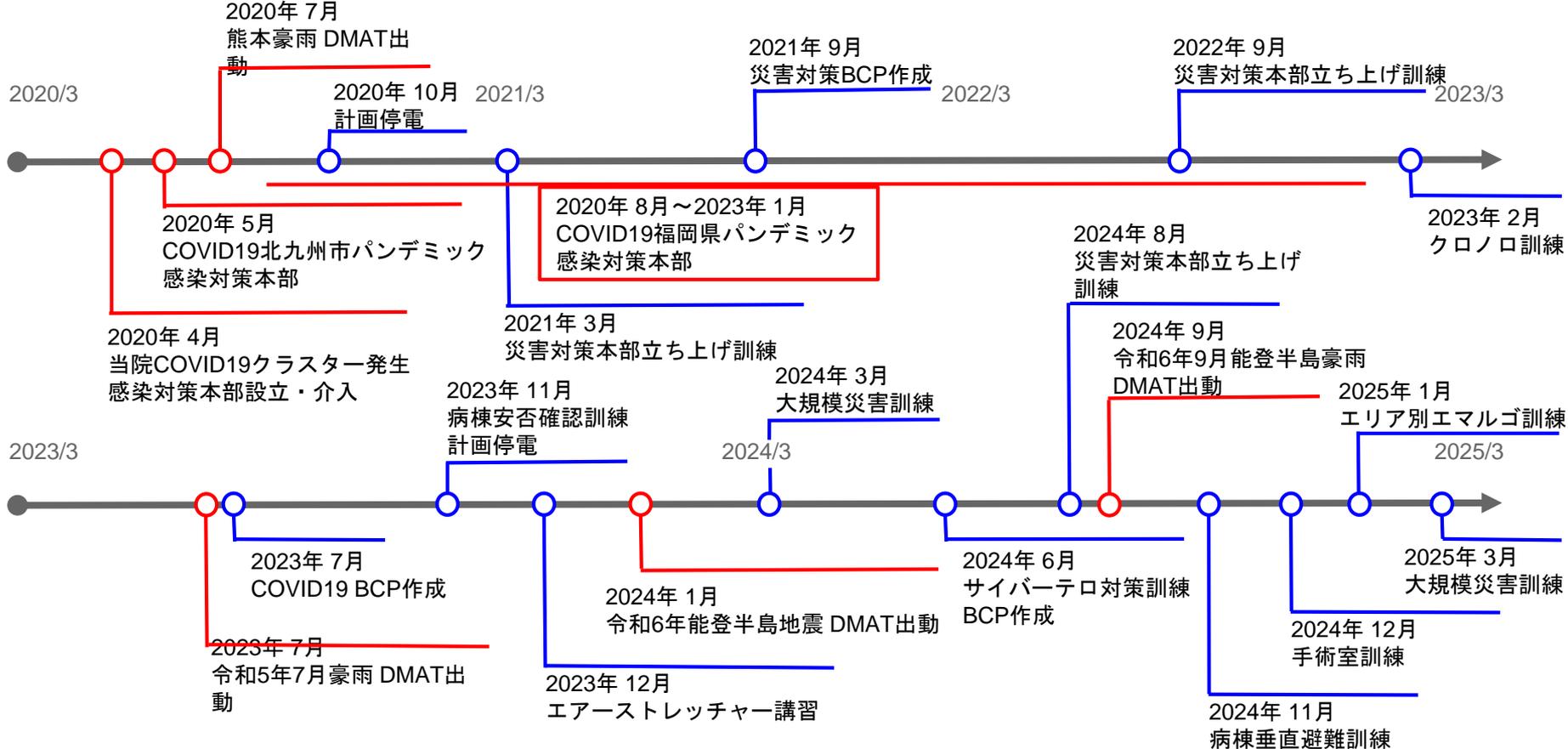
北九州市：9病院

京築：2病院

下関市：3病院



# 新小文字病院災害対策支援室：災害出動と災害訓練

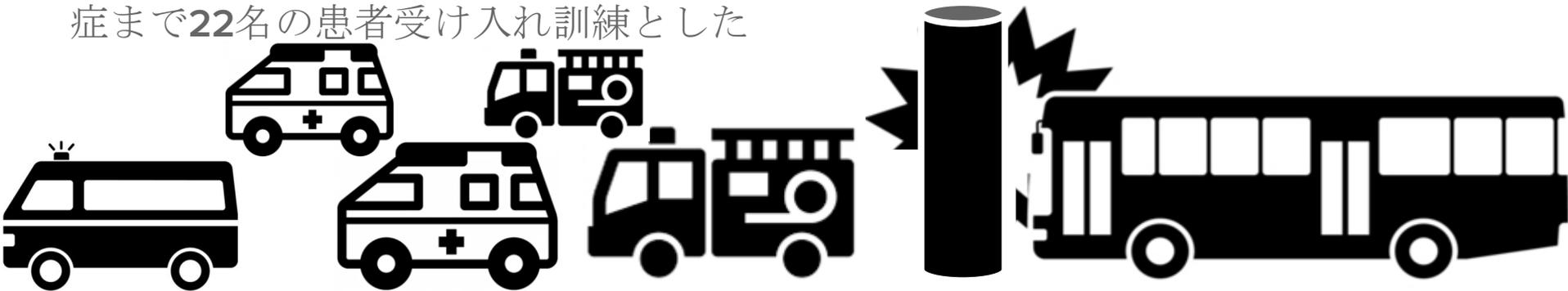


## 令和6年度大規模災害訓練 概要

2025/3/1午後1時すぎ。国道3号線門司駅付近において観光バスが中央分離帯に乗り上げ電柱に衝突したということで乗客から通報。A出動。車内には10名の乗員乗客がおり、歩行できない患者は5名。

門司指揮隊、門司一小隊、門司西小隊、門司救急隊、松ヶ江救急隊が出動し現場(新小文字病院第二駐車場に仮想)活動。

院内訓練としては上記事案の受け入れ。院内訓練上は患者数を拡大し重症から軽症まで22名の患者受け入れ訓練とした



# 消防局活動



# 災害対策本部



# トリアージエリア

No.	Name	性別	時間	内容	色
01	山本 由	女	14:59	精神科	緑
16	山口 マユミ	女	15:01	整形外科	赤
17	山内 エリカ	女	15:01	整形外科	赤
18	山内 シンジ	男	15:02	整形外科	赤
19	山内 ユウコ	女	15:00	整形外科	赤
20	山内 レナ	女	15:04	整形外科	赤
21	山内 マコト	男	15:05	整形外科	赤
22	山内 ユウコ	女	15:05	整形外科	赤
23	山内 マコト	男	15:07	整形外科	赤

14:20 搬送終了後 救急車到着  
 14:40 搬送 14:50 搬送完了  
 14:45 2464-3台搬送(合計)前  
 14:50 救急車到着  
 15:10 整形外科  
 15:10 整形外科 搬送完了  
 15:17 救急車到着 整形外科 搬送完了



# 赤エリア



# 黄緑エリア

Handwritten table on a whiteboard with columns for patient information and a diagram of beds.

床番	床番	性別	年齢	病名	状態	入室	退室
①	200-210	F	82	認知症(軽度)	自立	10:00	10:30
②	200-209	M	88	認知症(重度)	介助	10:00	10:30
③	200-208	M	85	認知症(軽度)	自立	10:00	10:30
④	200-207	F	88	認知症(軽度)	自立	10:00	10:30
⑤	200-206	F	87	認知症(軽度)	自立	10:00	10:30

Bed NO表 黄緑区

① ② ③ ④ ⑤

⑥ ⑦ ⑧

⑨ ⑩ ⑪

⑫ ⑬ ⑭

⑮ ⑯ ⑰

⑱ ⑲ ⑳

㉑ ㉒ ㉓

㉔ ㉕ ㉖

㉗ ㉘ ㉙

㉚ ㉛ ㉜

㉝ ㉞ ㉟

㊱ ㊲ ㊳

㊴ ㊵ ㊶

㊷ ㊸ ㊹

㊺ ㊻ ㊼

㊽ ㊾ ㊿



## 今後の展望(野望)

休日に訓練のためだけにスタッフを集めて訓練

消防のパートから一貫して不確定要素だらけの訓練

保健所や行政との連携訓練

近隣病院や施設と連携した訓練

院内ミニ訓練の自動化



## 謝辞

今回の訓練実施にあたって、

北九州市消防局

戸畑共立病院、福岡和白病院、新行橋病院

下関看護リハビリテーション学校

そして当院スタッフに多大なるご協力を賜りました

心より感謝申し上げます

# 感謝!

 ありがとうをこころから!



新小文字病院災害対策支援室